

2. 滋賀県東近江市建造物調査

岸 泰子

1. はじめに

滋賀県東近江市は、滋賀県の東部に位置する。市内には、湖東三山の一つである百濟寺をはじめ、歴史的建造物が多数ある。また、近江商人発祥の地とされる五個荘金堂地区は、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

今年度は東近江市からの依頼を受け、五個荘金堂地区内にある民家の建造物調査を実施した。該当の民家は、明治初期の建設である。敷地内には主屋、附属屋複数棟などが立ち並び、立派な庭園もある。家には文書も所蔵されている。

2. 調査の概要

建造物調査は、京都工芸繊維大学と合同で、以下のとおり実施した。

調査日 2019年6月18・25日、8月7日、9月2日、10月18・21日、11月25日
調査員 京都府立大学文学部歴史学科 山岸常人、岸泰子（以上、教員）、小泉朋大（4回生）、安部萌花、宮田匡（以上、2回生）
京都工芸繊維大学工芸科学部 登谷伸宏（教員）、学部生3名
調査内容 調査票作成、実測調査（平面図・断面図・配置図）、写真撮影

明治期に建設された主屋、昭和期の離れ、附属屋（土蔵）などを調査した。あわせて、家に所蔵されている古文書の調査もおこなった。類例調査として、同地区にある親類家の主屋ならびに土蔵の調査をおこなった。

現在、成果の清書などを進めており、来年度はそのほかの類例も調査する予定である。庭園調査の成果なども含めて、来年度には報告書を刊行する予定である。